

2012年度 修学院フォーラム

若者の未来に寄り添う

自傷、自死、カルトへの衝動のなかで
第1回

主催 (財)日本クリスチャン・アカデミー
関西セミナーハウス活動センター

いま希望は、若者の問題ではなく、この国と国際社会の問題として語られ、ときに絶望の時代という声さえ聞こえてきます。コミュニケーションの技法までマニュアル化される時代に、なぜ、若い人びとは孤独を見つめ、自傷と自死、そしてカルト宗教への衝動を抱えてしまうのでしょうか。具体的な事例も含めて未来ある人びとの魂の声を聞き分けながら、若い人びとに希望と取り戻すための方途を探りたいと願っています。

思春期までのこどもと向き合って学んだこと

講師：藤藪 庸一（白浜バプテストキリスト教会牧師
NPO白浜レスキューネットワーク代表）

白浜三段壁で行なわれている自殺防止の活動は、自殺志願者を丸抱えし、共同生活を通し、社会へ復帰させていく活動です。そこにあるのは、社会の縮図ともいべき人間模様です。私たちは540人を超える人たちと共同生活をしてきた経験から、人間形成には幼少期から思春期に親を含めどのような大人と出会い関わってきたかが大きな影響を与えると実感しています。関わったほとんどの人が、その時期に問題を抱えているのです。中学校の心の相談室に勤務している経験も踏まえ、分かち合えたらと思っています。（藤藪 庸一）

日時：2012年 6月 16日(土) 13:30～17:30

場所：関西セミナーハウス 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23

参加費：2,000 円、学生 500 円 会場への地図は裏面をご覧ください。

6月13日までに FAX(裏面)、電話、電子メール等でお申し込み下さい。



藤藪 庸一 FUJIYABU Youichi

1972年生まれ。白浜町出身。妻、息子、娘の4人家族。その他、保護した自殺志願者たちと一緒に生活している。

東京基督教大学神学部神学科卒業後、白浜バプテストキリスト教会牧師就任。前任牧師が始めた「いのちの電話」の働きも同時に引き継ぐ。2005年4月、白浜レスキューネットワーク設立。その後、学童保育や託児、高学年向けの勉強会を始める。また、二人の子どもを里親として育てる。現在、東小谷町内会町内会会長、はまゆう病院倫理委員会委員、白浜社会福祉協議会理事、和歌山県自殺対策連絡協議会会員。

小学6年生の時に、テレビでカンボジアとエチオピアの難民キャンプの映像を見て、何かできないかと募金活動を始める。聖書の「金銀は私にはない。しかし私にあるものをあげよう。ナザレのイエス・キリストの名によって歩きなさい」という言葉に出会い、牧師になる決心をする。その後、ジョージ・ミューラー(イギリスで活躍した牧師で孤児院を建て上げた人物)に憧れ、牧師として(裏面へ続く)

教育や福祉に携われたらと願うようになる。

現在、教会を開放し、自殺を考え悩み苦しんでいる人や、助けを求めているけれど社会の中で助けを得られない人などを共同生活という形で受け入れ、問題の解決と自立を目指している。現在10名の滞在者と共同生活を行っている。この働きを通し様々な方々と接する中で、幼少時期、思春期の子ども時代の体験が大人として成熟していくために非常に大きな力になると感じ、「はじめ人間自然塾」や「宿題クラブ・コペルくん」などを通し、子どもたちへの働きかけを始めている。

また、6年生の時に見た難民キャンプを忘れることはできず、フィリピン、カンボジアの貧しい地域に家を建て井戸を掘る働きに参加している。

〈著書〉『「自殺志願者」でも立ち直れる』(講談社)

2012年度 修学院フォーラムのご案内

若者の未来に寄り添う

第2回 7月21日(土)「絆とは何か ホームレス支援から見た無縁日本」

講師 奥田 知志(日本バプテスト連盟東八幡キリスト教会牧師)

エネルギーを考える - 原子力発電の根本的問題と我々の選択

10月7日(日)~8日(月)

「科学・技術の視点から」講師 北澤 宏一(独立行政法人科学技術振興機構顧問・前理事長、福島原発事故民間独立調査委員会委員長)

「キリスト教倫理の視点から」講師 栗林 輝夫(関西学院大学法学部教授)

高齢を生きる 認知症・胃ろう・尊厳死を見据えて

第1回 5月12日(土)「高齢者の終末期医療とケアを考える」

講師 葛原 茂樹(鈴鹿医療科学大学教授(保健衛生学部医療福祉学科)、神経内科医師)

第2回 10月27日(土)「高齢者福祉を繕う新たな動き NPOちいろばの働きを考える」

講師 君村 淳(NPOちいろば「晴れる屋」責任者)

君村 千代子(NPOちいろば「スカサ」責任者)

第3回 12月15日(土)「高齢を生きる 認知症・医療的介入(胃ろうなど)・尊厳死を見据えて」

講師 根岸 宏邦(豊中愛和会理事長)

第4回 2013年1月19日(土)「尊厳死」思想の形成と変容 尊厳死と安楽死」(仮)

講師 大谷 いづみ(立命館大学産業社会学部教授)

(財)日本クリスチャン・アカデミー 関西セミナーハウス活動センター

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23

<http://www.academy-kansai.org>

電話 075-711-2117

FAX 075-701-5256

電子メール office@academy-kansai.org

運営委員長 小久保 正

担当 都木 かおり



* 地下鉄烏丸線松ヶ崎駅、叡山電鉄修学院駅までワゴン車で送迎いたします。定員がありますので、ご希望の方は予めお知らせ下さい。地下鉄の最寄駅は松ヶ崎駅ですが、北山駅のほうがタクシーを拾いやすいです。

2012年度 修学院フォーラム「若者の未来に寄り添う」第1回 参加申込書

| | | | | | |
|--------|----|--------|---|-------|--|
| (フリガナ) | | | | | |
| 名前 | 所属 | | | | |
| 住所〒 | | | | | |
| 電話() | - | FAX() | - | 携帯() | |
| 電子メール: | @ | | | | |